

福祉だより

秋号
NO.88

社会福祉法人 泊村社会福祉協議会 発行

発行日
令和6年10月1日

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2 TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763
メールアドレス tomari-syakyo@ak.wakwak.jp ホームページ <http://www.tomarimura-syakyou.or.jp>



「みんなの食堂」

令和6年9月14日(土)に今年度はじめての取り組みとなる「みんなの食堂」を OPEN いたしました。食事の提供にご協力いただきましたのは、村内で活動されている「ゆずの会」様にご協力いただき、来場者に手作りの食事を提供いたしました。参加者から「給食を思い出しても懐かしいメニューでした。おいしかったです。ごちそうさまでした。」「こどももおかわりして2杯ともピカリーン🍴できました!美味しかったです。」「私たちのために開催していただきありがとうございます。美味しかったです。」など声が聞かれました。人の手で作った食事を食べることは幸せを感じますね。詳細につきましては3Pをご覧ください。今回いただいた感想を参考にしていき、次回も「みんなの食堂」を OPEN することができればと思います。

ご協力いただきましたボランティアの皆様方、本当にありがとうございました。

目次



- 表紙 「みんなの食堂」について
- 2P 赤い羽根共同募金運動について
- 3P ボランティアセンターだより No 3
- 4P 各種事業お知らせ・編集後記



QRコード

泊社協ホームページ



この広報誌は共同募金の配分金を用いて発行しております。

令和6年度

赤い羽根共同募金運動

泊村共同募金委員会



皆様の温かい善意に支えられ「赤い羽根共同募金」は、今年も10月1日から全国一斉にスタートします。
～ほんの小さなやさしさが広がる大きな支援の輪～



赤い羽根共同募金とは…

「共同募金」は、社会福祉の資金として使われます。具体的には、社会福祉施設や地域の活動している団体などに配分され、また市区町村で福祉活動を推進している社会福祉協議会に配分されます。皆様からご協力いただきました募金は約70%が泊村の福祉事業に使われ、30%は全国的な災害復興支援や北海道の広域的な活動に使われます。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

高齢者等のための活動

高齢者の支援活動の一環として、老人クラブ連合会・単位クラブ団体等に助成します。



泊村老人クラブ連合会の様子

こどものための活動

こども支援事業の一環でこどもの製作活動や育成会・部活動等を支援します。



社協事業「陶芸体験」の様子

地域福祉推進のため活動活

社会福祉協議会やボランティア事業など地域福祉活動を支援します。



社協事業「あおぞらカフェ事業」の様子

災害時のための活動

災害時のニーズに対応するために、災害ボランティアの活動を支援します。



災害ボランティアセンターの様子

何かご不明な点がございましたら ☎75-3761 共同募金事務局 柴田 までご連絡ください。

ボラセンだより

Volunteer Center Letter

泊村ボランティアセンター

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2
TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763

No.3

…… ボランティアセンター事業「みんなの食堂」を実施いたしました！ ……



〈地域食堂とは…〉

普段何らかの事情でひとりで食事をする子どもや高齢者に「場所」を提供することで、孤食を防ぎ、新たな居場所を作ります。

また、子のいる親同士のコミュニケーションや、世代を超えたコミュニケーションの場としても大きな役割を果たします。

「みんなの食堂」はボランティア・参加者含めて100名以上の方が来場され、こども無料・大人100円で食事を提供いたしました。食事は開始40分で提供分が完売し、大変盛況でした。

体験ブースとして、モルック・switchゲーム体験をご用意し、小中学生や高齢者が体験をとおして交流を楽しまれておりました。また、別ブースでは、小川さんによる焙煎コーヒーを振舞っていただき、出来立てのコーヒーの味・香りは格別でした。今後も「みんなの食堂」を継続的に開催していく予定です。ぜひ、ご参加ください。その際には、ボランティアさんの活動が不可欠のため調理・運搬していただけるボランティアを随時募集いたします。みなさんの活動がなければできない事業ですので、ご協力いただける方は本会までご連絡をお願いいたします。

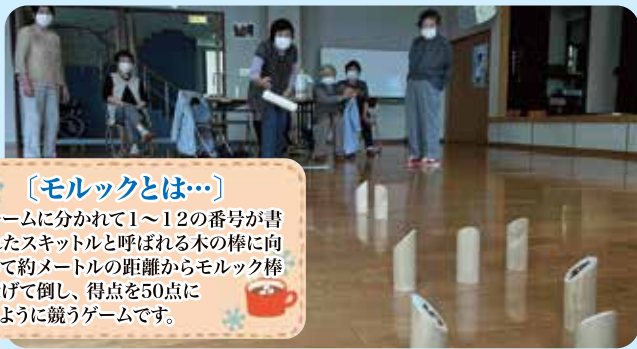
…… 愛のふれあい訪問活動 配布ボランティア募集！ ……

愛のふれあい訪問活動事業(村内に住まわれている70歳以上の独居高齢者・75歳以上の高齢者世帯に月1回お弁当を配布する事業です。)でお弁当を届けてくださるボランティアを募集しています。年々、配布個数が増える中、配布するボランティアさんが不足しております。ご協力いただける方がおりましたら、本会(☎75-3761)までご連絡ください。全地域募集しておりますが、**特に堀株・茅沼地域が不足しております**。地域の皆様のご協力の程よろしく願いいたします。

活動内容	月1回お弁当の配達(5~15個程度) ※個数は月によって変動あります。 ※配布は自家用車・持ち歩きをお願いしています。	
実施期間	令和6年10月~令和7年3月まで月1回程度(第4週金曜日に実施をしています)	
実施時間	15:00頃~15:20まで	
ポイント	活動にご協力いただける方にはボランティアポイントを付与します。付与されたポイントが一定数貯まりましたら商工会が発行するムーコン券と交換することができます。	
その他	・ 配布するお弁当はボランティアさんの自宅までお届けに伺います。	
	・ 泊村ボランティアセンターに登録しての活動となります。 ・ 万が一の事故に備えてボランティア保険に加入いたします。(社協負担)	

何かご不明な点がございましたら ☎75-3761 ボラセン担当 柴田 までご連絡ください。

「福祉用具貸出事業」のお知らせ



【モルックとは…】

チームに分かれて1～12の番号が書かれたスキットルと呼ばれる木の棒に向かって約メートルの距離からモルック棒を投げ倒し、得点を50点になるように競うゲームです。

令和6年7月11日(木)に村内でサロン活動されている「ひまわり会」さんから依頼を受けて、モルック体験を実施いたしました。会員さんから初めてモルックをプレイした感想を聞くと「意外と重たいけど、投げやすかった」「みんなで考えながら競い合えるので楽しい」など普段の活動とは違う内容に楽しんでいる様子でした。モルックは泊村社会福祉協議会で貸出しており、他にもボッチャなどだれでも楽しめるレクリエーション道具があります。どなたでも借りることができますので、ぜひご利用ください。

団体報告



泊村老人クラブ連合会



令和6年7月24日(水)に積丹町神威岬まで、ウォーキングを行うため会員20名が集まり、健康増進・生活習慣病予防のため運動を行いました。当日は残念ながら雨が降る中での実施でしたが、会員同士で話しながら岬まで向かい、楽しみながらウォーキングを行っていました。その後、岬の湯で昼食や温泉に入り、疲れもリフレッシュ!会員からの感想として「普段の生活ではウォーキングをしないため、会員と話しながら楽しめながら動けてよかった」「動いたあのご飯とお風呂が最高でした」との声が聞かれました。

泊村身体障害者福祉協会

第1回 研修会

令和6年7月12日(金)に仁木町「偕楽園」にて第1回研修会を行いました。例年実施しているさくらんぼ狩りを実施しました。身障者の方でも採りやすい位置にしてくれているので安心してさくらんぼ狩りを楽しめました。久しぶりに会員同士顔を合わせ「なかなか外出する機会が無いので、こういう機会がある事は良いね」と交流を楽しみました。



第59回 後志身体障害者福祉大会・第51回 後志身体障害者スポーツ大会



令和6年9月5日(木)に余市町総合体育館にて第59回後志身体障害者福祉大会及び第51回後志身体障害者スポーツ大会が行われ、会員9名が参加しました。スポーツ大会では玉入れや缶転がしリレーなどの競技に参加し、大健闘した結果、団体戦では見事、準優勝という結果になりました。会員みんなで大喜びし、「来年こそは優勝したい」と意気込みが聞かれました。身障協会の皆様おめでとうございます。

編集後記

今号が皆様のお手元に届くころ、秋の季節となり、紅葉も色づいてきていのではないのでしょうか。みなさんは秋といえば何を思いますか?「紅葉、食欲、芸術、スポーツ、お月見、ハロウィン」などなど…。秋はたくさんのイメージがあるかと思いますが、どんな言葉でも当てはまるような気がします(笑)わたしは、秋になると紅葉を思い出します!北海道は自然豊かで秋の紅葉がとてもきれいな彩りとなり有名と言えば、定山溪や旭岳の紅葉が人気で毎年多くの観光客が訪れていますね!秋が終わればすぐに冬が来てしまいますが、今しか楽しめない季節ですので、みなさんも秋のイベントを楽しんでください!

